

市バスを廃止し来年度から阪神バスに委譲 経営悪化の原因は敬老パス有料化



敬老パス有料化は、市バス経営悪化の原因を決定づけたのは、6年前の「高齢者特別乗車証（敬老パス）」の有料化です。有料化前の平成21年度と昨年26年度を比べると、敬老パス利用の乗客が6割減り、一日当たり1万1000人の高齢市民が市バスから締め出されました。その結果、市バスの収入は3割も減りました。

敬老パス有料化で収入3割減

来年度4月に阪神バスへの委譲を前提に、今年度で市営バスを廃止する議案がなされました。日本共産党議員団は反対しましたが、賛成多数で可決されました。今後、阪神バスと協定を結んだ上で、来年度3月20日から阪神バスが現在の市バス路線を引き継ぐこととなります。

① 民営化後の3年間の市負担は毎年3億円程度軽減されますが、民営化に伴う一時的経費が、IC化や退職手当で9億円以上が必要になり、財政効果としては薄いこと。
② 3年間は路線や料金が維持されます。しかし、3年後は、地域公共交通会議に委ねられますが、権限が弱く、必要な路線が確保される保障がないこと。
③ 本来、「総合交通政策」を確立した中で市バスの位置づけをすべきであり、市バスをなくしてからは、「総合交通政策」を考へるのは、まちづくりの観点からも逆立ちしていること。

財政効果薄く将来に不安

日本の悪化と、高齢利用者の締め出しをもたらし、市民福祉を担う行政として、失策だったといわざるをえません。

敬老パス

民間バスへの拡大は賛成 市民負担増に反対

また、敬老パス条例改正と、運賃助成条例が提案されました。阪神バスへの委譲にあわせ、敬老パスが阪神バス・阪急バスでも利用できるようになることは、かねてから市民要望もあり賛成ですが、民営化でなければできないことはありません。しかし、定期方式が阪神バスの「グランドパス」に切り替わり、



反対討論する辻おさむ議員

市民の暮らし・経済をささえた市バス

尼崎の市バスは、67年間、通勤・通学・病院・買い物など、市民の暮らしや市内経済を支えてきました。
昭和23年に高洲・鶴町間1.6kmを、電気バス3台で運行を始め、昭和30年代に、市内全域の路線網を確立、昭和42年にピークを迎え1日平均12万8000人の乗客を運びました。
その後、自動車・自転車の普及や、道路の混雑・渋滞で走行環境が悪化しましたが、高齢化や環境に配慮した努力が重ねられてきました。全国に誇れる全車両「ノンステップバス」もその一つです。

高齢者IC乗車証 定期乗車券の購入助成 (H28.4.1~)

区分	通常価格	1年定期		半年定期		
		市助成額	利用者負担額	通常価格	市助成額	利用者負担額
低所得Ⅰ	40,000円	35,500円	4,500円	21,000円	17,750円	3,250円
低所得Ⅱ		32,500円	7,500円	16,250円	16,250円	4,750円
一般		25,000円	15,000円	12,500円	12,500円	8,500円

3年間は市民負担が現在のままですが、将来の値上げや増税分は、市民負担を増やす仕組みであり、認めることはできません。

市民負担増の決算に反対



松沢ちづる 議員

一般・特別会計決算委員

昨年長引く不況で働く人の実質賃金は連続マイナスが続く中、4月からの消費税8%への増税、市・県民税均等割りの引き上げに、物価の高騰が追い打ちをかけ、さらなる市民負担が増加した年でした。それだけに、市としても、市民の暮らしを支えるとりくみが必要でした。

日本共産党議員団は、市民福祉を増進するうえで問題点があったことを指摘し、2014年度一般・特別会計決算の認定に反対しました。人、母子で2770人削減しました。市税収納率アップのための差し押さえを強化、国民健康保険では窓口対応が厳しさを増しています。マイナンバー制度のシステム導入準備は進みましたが、「なりすまし詐欺」の相談体制は国任せで、何らとりくんでいません。



6億円でパナ貸地を売却

パナソニック(PPD)に貸与していた尼崎市の土地6972㎡を買い取る業者が現れたので6億2718万円で売却します。買い取るのは、PPDの工場建物を管理するために設立されたPASSAT(パサー)特定目的会社で、工場を改修し、流通加工会社に賃貸する予定です。



臨海西部で売却金額は半分程度

もともとこの土地は、阪神大震災のあと、県が神戸製鋼の土地を買い取ったのに協調し、尼崎市が同和鉱業(株)の土地5万5千㎡を約72億円で買い取ったものですが、臨海西部土地区画整理事業を行い、約1万5千㎡は道路などで使用し、4万㎡は21世紀の森や工場の分譲用地として売却。今回のPPD貸地の売却で完売となりますが、売却総額は35億4558万円で、購入金額の半分程度です。

阪急園田駅にエレベーター設置を一阪急も前向き

阪急園田駅のバリアフリー化が長年の課題となっており、当議員団は田村いとお議員を先頭に、繰り返しエレベーター設置を求めてきました。9月議会にも、設置を求める陳情が1万8千筆の署名とともに出されました。陳情審



議で、阪急もエレベーター設置を進める計画をもっていることが明らかとなりました。2F改札とホームをつなぐためには、駅校内に新たに2基のエレベーター増設が必要で、そのため、駅スペースの拡張や店舗移転も必要となります。現在、市と阪急との協議が続いています。当駅は、市内13駅中、唯一バリアフリー化計画が進んでいない駅です。地域の要望実現に今後がんばります。

採決結果一覧表 (第13回定例会)

区分	内容	新 政 会 12 人	公 明 党 9 人	共 産 党 7 人	緑 の 党 6 人	市 民 の 党 4 人	維 新 の 党 4 人	結果									
認定	認定第1号 平成26年度歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	認定									
認定	認定第4号 平成26年度自動車運送事業会計決算	○	○	×	○	○	○	認定									
条例	議案第95号 市立学校の設置管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決									
	議案第97号 中学校給食検討委員会条例	○	○	○	○	○	○	可決									
	議案第98号 乗合自動車特別乗車証交付条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	可決									
	議案第99号 高齢者乗合自動車運賃助成条例	○	○	×	○	○	○	可決									
議案第103号 自動車運送事業の設置等に関する条例の廃止	○	○	×	○	○	○	可決										
予算	議案第89号 一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決									
他の案件	議案第104号 工事請負契約の変更(旧尼崎東高等学校校舎等解体撤去工事)	○	○	○	○	○	○	可決									
	議案第111号 市有地の売り払い	○	○	○	○	○	○	可決									
その他 25議案																	
会議規則案第1号 市議会会議規則の一部改正									○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=賛成 ×=反対 議題2件、陳情6件はいずれも継続審議